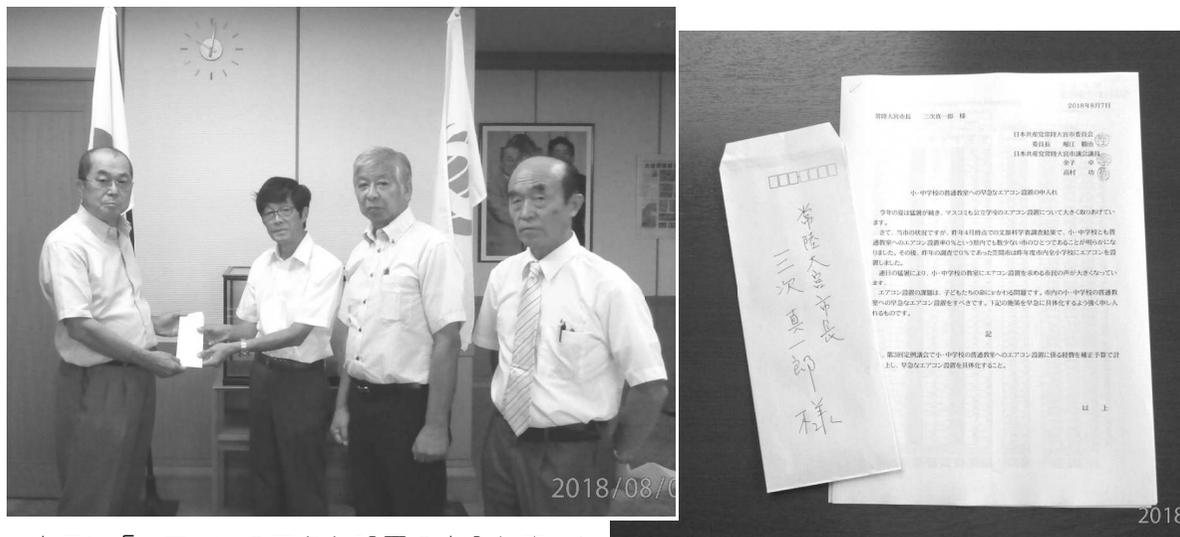


2議席になった日本共産党の金子・高村両議員が 「エアコンの早急な設置」を市長に申入れ



市長に「エアコンの早急な設置の申入れ書」を手渡す日本共産党の高村功・金子卓両議員と堀江鶴治党市委員長

市長、「前向きに検討するよう指示した」と回答

市議選で当選した日本共産党の金子卓・高村功両議員は8月7日、堀江鶴治市委員長とともに三次市長に「小・中学校の普通教室へのエアコン設置」の申入れ書を手渡しました。申入れには教育長と教育部長が同席しました。申入れに対し市長は「エアコン設置を前向きに検討するよう指示した」と答えましたが、第3回定例議会(9月議会)での予算措置については答えませんでした。

高村功新議員は同日の申入れについて次のように述べました。

小・中学校の教室に早急なエアコンを設置を求める申し入れに金子議員らとともに参加しました。新議員になってはじめての仕事に、いささか緊張しました。

教室へのエアコン設置は、『災害』といわれる猛暑の中で、まさに子どもたちの命にかかわる大きな問題として、日本共産党が市議選でも強く訴えてきた公約です。それは、4年前の『請願不採択』とあいまって、市民から大きな共感を呼び、今回の2議席実現へ

の原動力ともなりました。

申入れでは、常陸大宮市が県内でエアコン設置率0%という数少ない市のひとつになっていることや、市民の声の広がりなどを踏まえ、第3回定例議会で、エアコン設置に係る経費を補正予算として計上することを強く要求しました。

市長は、現在の異常気象や国の方針などに言及しながら、「エアコン設置を前向きに検討するよう指示した」と述べました。

今回の市長申入れに参加して改めて感じたのは、日本共産党はまさに住民の切実な願いに寄り添ってこそ、その存在価値があるということです。

今回、みなさんの大きなご支援で議会に送り出させていただきました。私自身、今後も研鑽を重ね、期待に応えるためにも、金子議員とともにがんばる決意です。よろしくお願いいたします。

(新議長・常任委員等を選出する臨時議会は、8月9日(木)に)
おこなわれます。午前10時開会です。

「持続可能な農業は家族経営」

茨城農民連が定期大会

農民運動茨城県連合会(茨城農民連)は8月5日、銚田市内で第51回定期大会を開き、向こう1年間の活動方針を決めました。

採択された活動方針は農業や農民をとりまく情勢を分析。経営規模については「規模拡大を一律に否定する立場ではない。農家が自主的に決めること」と述べたうえで、「持続可能な農業は家族経営」と強調しています。

種子法廃止や環太平洋連携協定(TPP)11批准などを強行した安倍政権の農業つぶしを断罪。◇県農業予算を増額させる運動 ◇住民の命や暮らし、農業基盤を危険にさらす東海第2原発再稼働ストップ ◇戦争法廃止、改憲反対 ◇仲間づくりと要求運動の前進一などを呼びかけています。

討論では各代議員が積極的に発言。◇農民組合と産直組織が力を合わせて農業を守る活動 ◇単位組合の支部を活性化させる取り組み ◇市議会で種子法の復活を求める請願を全会一致で採択させた運動の経験 ◇税金申告の取り組み一などについて報告しました。

大会は役員選挙を行い、会長に岡野忠氏(67)、書記長に村田深氏(50)をそれぞれ再任しました。

(8月8日付「しんぶん赤旗」)